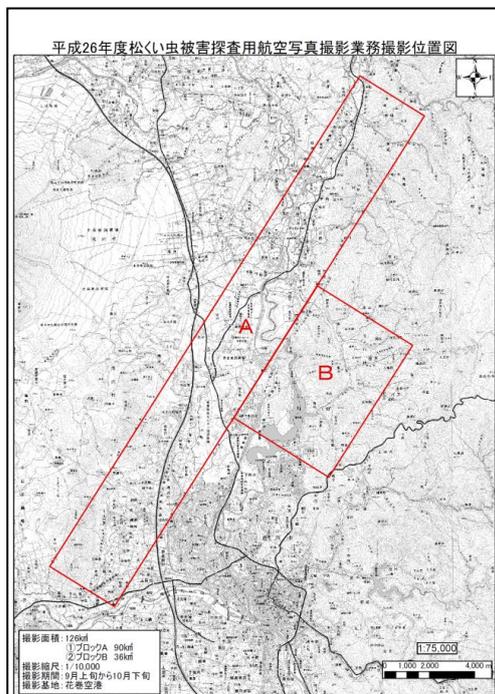


## 最新研究成果の導入による松くい虫被害監視体制の強化 ～航空写真とGISを活用し松くい虫被害木を徹底駆除～

松くい虫被害先端地域である盛岡広域振興局管内において、森林総合研究所等の研究成果である「航空写真とGISを活用した松くい虫ピンポイント防除」を導入して監視強化を図り、効率的な駆除を行っていますのでその内容を報告します。

### 1 航空写真による枯損木の抽出

平成26年度に実施した航空写真の撮影範囲は滝沢市大釜から盛岡市玉山区寺林の126km<sup>2</sup>で、赤外線による航空写真を活用することで、アカマツ枯損木を机上で確認できるようになります。(※枯損木には、他の原因で枯死したものや古い枯死木が含まれることがあります。)

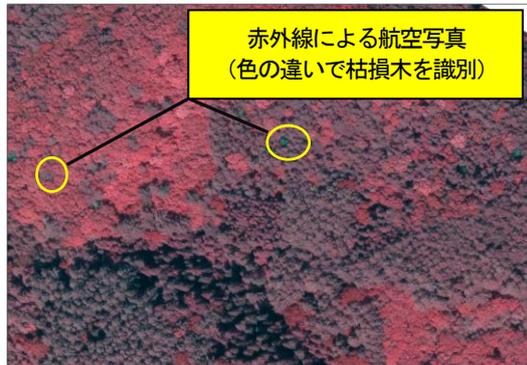


### 2 アカマツ枯損木の現地調査

得られた枯損木位置データを活用し、地上か

ら現地調査を行った結果、地上探査やヘリ探査で見つけられない箇所についても、盛岡市玉山区で約920本、滝沢市で新たに120本のアカマツ枯損木が確認できました。

航空写真情報と地上からの現地調査を併用することにより、これまでに比べて精度の高い監視を行うことができました。



### 3 松くい虫被害木の駆除

これらの被害木データを盛岡市及び滝沢市と共有して活用することにより、平成27年度の駆除事業において、土地所有者からの同意や速やかな駆除事業の実施に大きな効果がありました。

引き続き、被害先端地域において監視体制を強化し、徹底駆除を行うこととしています。

